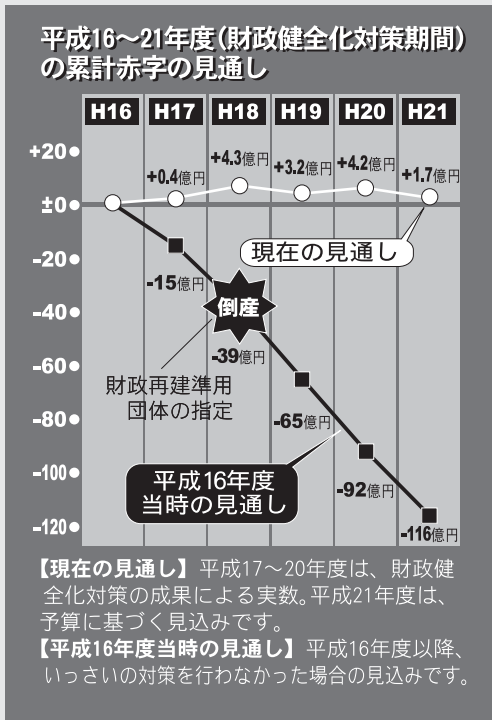


より財政の健全なまちを目指して



平成16年度から取り組んだ「財政健全化対策」。当初予想された大幅な財政収支の悪化は食い止められました。左のグラフのとおり、財政収支は毎年黒字になっており、基金(貯金)への積み立てが少しずつできるようになっています。「財政力指数」や「将来負担比率」などの指標も改善がみられ、市の財政の健全性は高まりつつあります。

これは、これまで市民の皆さんの理解と協力をいただきながらさまざまな対策を進めてきた大きな成果といえます。

しかし、財政の健全性が高まったといっても安心できません。歳入の面では、依然として国からの仕送り「地方交付税」が減ったままとなっています。ま

た、一般財源のうち約6割を占める「市税収入」も景気低迷が続ぎ、伸び悩むことが見込まれます。

歳出の面では、少子高齢化に伴う「社会保障費」の増加や老朽化が進む「公共施設の維持補修費」の増加などが見込まれます。

市は、財政の健全性を今後も維持することを目的に、「財政健全化対策」のつぎの取組として「千歳市財政標準化計画」づくりを行っています。この計画の内容は広報ちとせ1月号でお知らせする予定です。

今の行政サービス水準を維持しながらより財政の健全なまちを目指して財政運営を進めますので、ご理解とご協力をお願いします。

公表しています！ 新地方公会計制度による財務書類

市は、平成20年度の決算から新しい会計制度にもとづいた財務書類を公表しています。

新しい会計制度は、市の資産や債務などの財政の情報をわかりやすくお知らせし、財政の透明性の向上や行政経営への活用を進めようとするものです。

この制度では、新たに複式簿記の考え方を取り入れ、一般会計や特別会計、公営企業会計、関係団体などを含めた連結ベースの財務書類4表(貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書)をつくります。

平成20年度の決算に基づいた財務書類は、市のホームページでご覧になれます。

●記事の詳細●

総務部財政課

主査(財政調整担当)

☎(24) 3131 内線371

■ 財政力指数

地方公共団体が国からの仕送りである地方交付税に依存する度合いを示す指数で、1に近い(あるいは1を超える)ほど財政に余裕があるとされています。

千歳市は、財政健全化対策の取組のほか国からの税源移譲などがあり、指数が少しずつ上昇し地方交付税への依存度が下がりつつあります。標準的な行政活動に必要な財源を調達する力は強まっているといえます。

平成16年度

0.757



平成20年度

0.798

■ 将来負担比率

水道事業などの公営企業や土地開発公社などを含めた地方公共団体の地方債や将来支払わなければならない負債を財源の規模と比較したもので、低いほど良好といえます。

千歳市は、投資的経費の抑制で地方債の発行を抑えたほか収支不足が生じたときに補てんする基金を増額できたことなどから、「将来負担比率」を大きく改善させることができました。早い段階で財政健全化対策を進めた成果が現れています。

平成16年度

146.9%



平成20年度

117.9%